



人権週間に向けて

副校長 菅野 範子

「人の気持ちを考えましょう。」

子どもたちによく語られることばの一つです。けれど、自分の事で精いっぱい、まだまだ経験の少ない子どもたちが、相手の思いや考えを想像することはそう簡単ではないのでは、と最近になって思います。だからこそ、子どもたちが自分以外の多くの他者と豊かにかかわり、多くの他者の多様な生き方にふれる機会をもち、人の思いに対する想像力を育てていくことが大事であると思っています。そこで学校では、日常生活の中で話したり遊んだりと周りの人と直接かかわることはもちろん、様々な学習活動の中で、他者の気持ちを知る・考える学びを行っています。

私が6年生の担任をしていた時の道徳の時間に、ある読み物教材をみんなで読みました。主人公の子は、感情を抑えられなくなってしまう行動をとるのですが、実は困っていたり不安に思っていたりする時にそうになってしまうのだという特性を皆に伝える、という話です。子どもたちは、いつも以上に真剣な面持ちで読み物を読み、感想を伝え合っていました。実はその6年生のクラスにも時折感情的になってしまうAさんがいたのですが、この学習を行った後から、周りの子どもたちはAさんの行動の理由を自分たちなりに考え、分かろうとする気持ちが増し、Aさんへの接し方が少しずつ変化していったのです。

末吉小学校では12月6日(月)～10日(金)の人権週間に、いじめや他者との違いをテーマにした本の読み聞かせを行います。そして、登場人物の生き方にふれ、気持ちを想像しながら、実際の生活の中で周りの人をどう大切にしていくかを一人ひとりが考える活動を行います。また、時期は前後しますが、全市一斉いじめ防止アンケートを行い、子どもたち自身の困り感や不安感を教職員が把握し、解決へとつなげる取組も行います。「自分を大切にする子」「周りの人を大切にする子」に育てるには、冒頭にも述べたように、自分以外の多くの他者との豊かなかかわり、多くの他者の多様な生き方にふれることが大切です。ご家庭でもお子さんと周りの人とのかかわりについて、ぜひこの機会に話し合ってもらえるとありがたいです。そして、もし困っていることや気になることがありましたら、いつでも学校にご相談ください。どうぞよろしくお願いいたします。

自分の力を発揮しました！

3年 土屋 海音さんが社交ダンスでの数々の輝かしい実績が認められ、「鶴見区民スポーツ奨励賞」を受賞されました。

また、4年 山田 莉帆さんがさいたま市の「北沢楽天漫画大賞」にイラストを応募し、見事に「大賞」を受賞されました。おめでとうございます！お二人の表彰を朝会で行いました。

